

ぼんつな ひ 盆綱引き - 春日市の民俗文化財 -

○盆綱とは

盆綱は、北部九州で広く分布しているお盆^{ぼん}に行う綱引き^{つなひ}行事で、子ども達を中心に行われる行事として各地に伝わっています。行事は8月のお盆^{ぼん}に行う地域が多く、お盆が近づくと各地で準備が始まっていきます。

かくち
各地でいろんな行事が
おこな
行われているんだね！



○春日市の盆綱引き

盆綱は各地で行っていますが、現在、春日市で行われている盆綱引きは小倉^{こくら}地区^{ちく}だけ。小倉地区の夏祭りの行事として、小倉地区自治会が中心となって行っています。

元々はお盆の8月15日に行っていましたが、現在は8月初旬^{しよじゆん}の夏祭りの時に盆綱引きをしています。小倉地区の盆綱引きは夏祭りの中で行われるので、午前中にカズラ^{ふじかずら}（藤蔓）を取りに行き、引き綱の準備を行います。



←引き綱の材料で
あるカズラ（藤蔓）



←カズラを編んで
引き綱に

盆綱引き本番では、大人^{おとな}と子どもに分かれて3回勝負^{しょうぶ}で引き合います。引き合う合図^{あいず}は「祝いめでた」です。3回目の勝負がつく前に、綱^{つな}の真^まん^{なか}中をなたで切っ^きてしま^{しま}います。このことが祖先^{そせん}の霊^{れい}を鎮^{しず}める供養^{くよう}とも言われています。

